

記入例 2 (第 3 号 水産食料品製造業)

様式第六 (第八 条 関係)

特定施設設置届出書

〇〇年 〇〇月 〇〇日

提出日を記入してください。

函館市公営企業管理者企業局長 様

住所 { 法人にあつては、
主たる事務所の
所在地 } 函館市〇〇町〇〇番〇〇号

申請者 氏名 { 法人にあつては、
名称および代表
者の氏名 } 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

下水道法第 1 2 条の 3 第 1 項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇〇〇	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	函館市〇〇町 〇〇番〇〇号	※受理年月日	年 月 日
特定施設の 種類	(例) 第3号 ホ 湯煮施設	※施設番号	
△特定施設の 構造	別紙 1 のとおり。	※審査結果	
△特定施設の 使用の方法	別紙 2 のとおり。	※備 考	特定施設の号番号および施設名を記入してください。
△汚水の処理の方法	別紙 3 のとおり。		
△下水の量 及び水質	別紙 4 のとおり。		
△用水及び 排水の系統	別紙 5 のとおり。		

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙 1

特定施設の構造

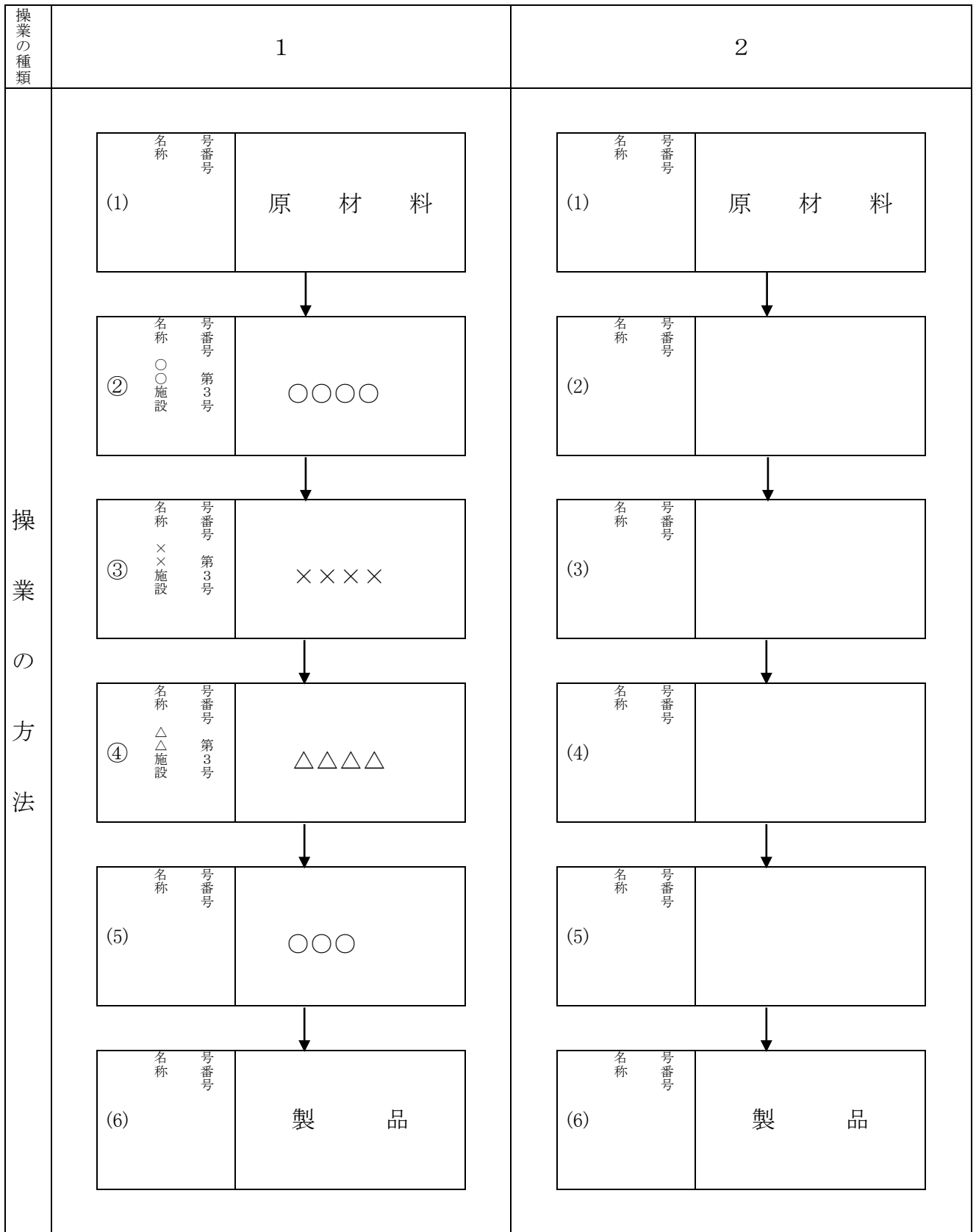
特定施設	No. 1	No.
1 号 番 号	(例) 第3号 ホ 湯煮施設	特定施設の号番号および施設名を記入してください。
2 名 称	(例) ボイル釜	特定施設の名称。
3 メーカ ・ 型 式	(例) △△株式会社 ○○○○ ○○-123□□	
4 台 数	○台	
5 材 質	○○○製	
6 主 要 寸 法 (m)	L ○○ × W ○○ × H ○○	長さ×幅×高さ。 単位はm。
7 能 力 (kg / 日)		特定施設の能力を記入。 一日当たりの処理量および 使用水量等。
8 設 置 図	別紙のとおり	別紙のとおり
9 工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
10 工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
11 使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
12 備 考		

別紙 2

特定施設の使用方法

特定施設	N o . 1		N o .													
1 号 番 号	(例) 第3号 ホ 湯煮施設		別紙1 1 号番号と同じ 番号が入ります。													
2 名 称	(例) ボイル釜		別紙1 2 名称と同じ。													
3 使用 方法	(例) ○○のボイル		特定施設の使用 方法。													
4 操 業 工 程 図	別紙 2 の 1 の と お り		別紙 2 の 1 の と お り													
5 1 日 当 た り の 使 用 時 間	○○時間 (○○時○○分～○○時○○分)		特定施設の使用時間。													
6 1 日 当 た り の 原 材 料 等 の 使 用 量	別紙 2 の 2 の と お り		別紙 2 の 2 の と お り													
7 汚 水 の 水 量 (m ³ / 日)	通 常	最 大	通 常	最 大												
	(例) 2.5	(例) 3.0	通常の 1.2 倍の数値となります。													
8 汚 水 の 水 質 (m g / L)	BOD		S S		pH		油 分		BOD		S S					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	300	360	300	360	7.0	8.0	40	48								
9 備 考	使用する栓数, 特定施設の使用水量 または汚水処理施設の処理水量から 算出し記入して下さい。															

操業工程図



備 考 操業の方法欄の番号のうち、特定施設を使用する工程の番号を○で囲み、その特定施設の名称および号番号を記入すること。

代表的な原材料と概算の使用量を記入してください。

別紙 2 の 2

1 日当たりの原材料等（消耗資材を含む。）の使用量

原材料等の種類	使用量(k g / 日)	用 途	備 考
1 ○○		○○用	
2 ○○○○		○○製造	
3 △△△		△△用	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

別紙 3

汚水の処理の方法

1	処理方式	浮上分離方式								
2	能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	75 (L/分) = 108 ($\text{m}^3/\text{日}$)				<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> (例) グリーストラップ 実容量 100Lの場合 許容流入流量 $100\text{L} \times 0.75 = 75 \text{ L/分}$ 処理能力 $75 \text{ L/分} = 108 \text{ m}^3/\text{日}$ $(75\text{L/分} \times 60 \times 24 \times 0.001 = 108\text{m}^3/\text{日})$ </div>				
3	構造	別紙図面のとおり								
4	汚水の処理 の系統図	別紙図面のとおり								
5	1日当たりの 薬品類の使用量 (凝集剤, 中和剤 等)									
6	汚水の 水質 (mg/L)	項目	B O D		S S		p H		油分	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		処理前	300	360	300	360	7.0	8.0	40	48
	処理後	200	240	200	240	7.0	8.0	20	24	
7	処理水の水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	通常	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">別紙2 7 汚水の水量と同じ数値になります。</div> (例) 2.5			最大	(例) 3.0			
8	発生汚泥等 の処理方法	汚泥等の量 ($\text{m}^3/\text{月}$)	○. ○○○ $\text{m}^3/\text{月}$							
	処理の方法	委託処理								
9	設置図	別紙図面のとおり								
10	工事着手 予定年月日	年		月		日				
11	工事完成 予定年月日	年		月		日				
12	使用開始 予定年月日	年		月		日				
13	備考									

公共ますにおける事業場排水（グリーストラップ排水）と生活排水（トイレ、手洗い等）を合計した下水の量となります。

(例) 事業場排 2.5m³ + 生活排水 1.0m³ = 3.5m³

通常の1.2倍の数値となります。
通常 3.5m³ × 1.2 = 4.2m³

公共ます2箇所
に汚水を排除する
場合記入して下さい。

別紙 4

下水の量及び水質

排出口		No. 1		No. 最大	
		通常	最大	通常	最大
下水の量 (m ³ /日)		(例) 3.5	(例) 4.2		
1	温度	度	度	度	度
2	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量				
3	水素イオン濃度 (pH)	水素指数 7.0	水素指数 8.0	水素指数	水素指数
4	生物化学的酸素要求量(BOD)	200	240		
5	浮遊物質 (SS)	200	240		
6	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (1) 鉱油類含有量				
	(2) 動植物油脂類含有量	20	24		
7	窒素含有量				
8	燐含有量				
9	汚濁消費量				
10	カドミウム及びその化合物				
11	シアン化合物				
12	有機燐化合物				
13	鉛及びその化合物				
14	六価クロム化合物				
15	砒素及びその化合物				
16	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
17	アルキル水銀化合物				
18	ポリ塩化ビフェニル				
19	トリクロロエチレン				
20	テトラクロロエチレン				
21	ジクロロメタン				
22	四塩化炭素				
23	1, 2-ジクロロエタン				
24	1, 1-ジクロロエチレン				
25	シス-1, 2-ジクロロエチレン				
26	1, 1, 1-トリクロロエタン				
27	1, 1, 2-トリクロロエタン				
28	1, 3-ジクロロプロペン				
29	チウラム				
30	シマジン				
31	チオベンカルブ				
32	ベンゼン				
33	セレン及びその化合物				
34	ほう素及びその化合物				
35	ふっ素及びその化合物				
36	1, 4-ジオキサン				
37	フェノール類				
38	銅及びその化合物				
39	亜鉛及びその化合物				
40	鉄及びその化合物(溶解性)				
41	マンガン及びその化合物(溶解性)				
42	クロム及びその化合物				
43	ダイオキシン類	pg/L	pg/L	pg/L	pg/L
摘要		水質については、生活排水による汚濁負荷量を除いた数値とする。			

備考

- この表に掲げる項目の単位は、温度、水素イオン濃度 (pH) およびダイオキシン類以外の項目については、mg/Lとする。
- 「摘要」の欄は、下水の量又は水質の推定の根拠等を記載すること。

別紙 5

事業場全体から公共ます 1 箇所に汚水を排除する
 場合です。

別紙 4 下水の量と同じ数値となります。

用水及び排水の系統

1	用水及び排水の系統図	別紙図面のおり							
	排出口	用 水							
水道水 (m^3 /日)		地下水 (m^3 /日)		その他() (m^3 /日)		合 計 (m^3 /日)			
通常		最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
2	No. 1	(例) 3.5	(例) 4.2					(例) 3.5	(例) 4.2
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	合 計	(例) 3.5	(例) 4.2					(例) 3.5	(例) 4.2